

平成締め括りとなる 4 月、新たなる時代に向けた体制でスタートを切った。時代の変遷とともに事業環境が変化する中、過去に縛られず、市民が必要とする地域福祉課題に向かって走り続けることが、本会に課せられたミッションである。そこで、新たに「地域共生社会の実現に向けた指針」を作成し、当面の方向性に関する 5 つの方針として、①あらゆる生活課題への対応、②相談・支援体制の強化、③アウトリーチの徹底、④地域のつながりの再構築、⑤行政とのパートナーシップを掲げた。つまり、「地域での課題に果敢に挑戦し、その為の情報収集や課題解決に努める。ただ、これを待ちの姿勢ではなく、地域への積極的なアウトリーチで進め、それぞれの地域での住民や多種多様な団体・機関を繋ぐことに力点を置く。その為には行政との緊密な連携は必須であり、正に車の両輪として行政とのより強いタイアップを図って行く」という方向性である。

5 月より改まる新元号の下、常に『社会福祉協議会とは何か』を自問しながら、地域住民から必要とされ、信頼される本会であり続けたい。

平成 31 年 4 月 1 日

社会福祉法人 宇部市社会福祉協議会
会長 有田 信二郎